



桜川市議会議長  
あいた かずよし  
相田 一良

# ごあいさつ

桜川市長  
なか た ひろし  
中田 裕



新年あけましておめでとうございませう。年頭にあたり一語ごあいさつ申し上げます。

市民の皆様におかれましては、新しい年を迎え、ますますご健勝にお過ごしのことと存じます。昨年9月に実施されました桜川市議選の改選によりまして第4代議長に選出され、真に光栄なことで、身の引き締る思いであります。公平・公正な議会運営を目指していく所存です。

一昨年・昨年と市長選・県議選を経験し、2陣営に分かれ激しい選挙戦を展開し、まずは議員間のしこりが残らないように配慮してまいります。執行側に対しては、議員がそれぞれの知恵を出し合い論議し、チェック機能を果たしたいと考えています。与党だから首長の提案に全て賛成。野党だから反対するのではなく、議会は政策中心であるべきです。対立する意見があっても、政治的妥協で結論を出すという新しい政治文化をつくる必要があります。

「持論は人の命」です。茨城県の地域医療再生計画の柱の一つとして、筑西・下妻医療圏が対象地域となっております。この地域では、現在、医師不

新年明けましておめでとうございませう。市民の皆様方におかれましては、2011年の輝かしい新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

一昨年10月に、2期目の市政運営に携わらせていただき、早1年3か月が過ぎようとしています。この間、私は「市民（あなた）が主役のまちづくり」を基本理念に、和と信頼の行政を醸成しながら、第1次総合計画に掲げる桜川市の将来像「伝統と豊かな自然に恵まれた田園文化都市」の建設に向けて努力を続けてまいりました。本年もこの理念と将来像を目標に努力してまいります。また、「日本一きれいなまちづくり」に向けても引き続き取り組んでいく考えです。

昨年6月に真壁地区の町並みが国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。本県初となる快挙であります。市ではこの選定とともに歴史的風致維持向上計画を策定し、新しいまちづくりに着手しました。真壁地区に建設中の多目的複合施設もその一環であります。この、多目的複合施設につきましては、名称を募集するなどして、平成23年度早期の完成に向けて仕事を進めております。また、

足・医療施設の老朽化などにより、地域医療に支障が出ております。特に、当地域で不足している急性期の医療機能を確保するため、新中核病院の整備が盛り込まれています。

筑西市民病院・県西総合病院的の公立2病院については、新中核病院の整備と併せて、サテライト化などの機能分担を図り、地域医療体制を再構築していく考えであります。

問題は、新中核病院の建設場所であります。筑西市・桜川市どちらにするか、現在調整中であり、桜川市としては、執行側・議会・有識者・県西総合病院長とスクラムを組み、当市内または、近い場所に誘致したいと私は強く主張してまいります。

また、少子高齢化が全国的に進んでいます。桜川市に於いても合併後約2,400人の人口減少となっております。その歯止めの一つとして今、結婚問題がクローズアップされています。

県は結婚を希望する男女の出会いの場として「いばらき出会いサポートセンター」を設立し、開設以来4年半で約500組の成婚を上げております。

昨年末には、これらの保存地区を中心とした地域の方々の活動や市の取組みが認められ「平成22年度地域づくり総務大臣表彰」の榮譽にも浴しました。

本年3月19日には北関東自動車道が全線開通となり、北関東方面からのアクセスが一段と改善されます。これに先がけ、桜川・筑西インターチェンジ周辺に商業施設などの誘致が図られるよう、土地利用計画の見直しを行いました。市の活性化に繋がる企業の進出を待ち望むところです。

未整備だった真壁・大和地区の高速通信網整備も本年1月には完了の予定で、市全域が便利さを享受できることとなります。このことによりインターネットなどの情報環境が大幅に改善され、個人に関わらず企業間の連絡や行政からの情報入手が大幅にスピードアップします。

岩瀬駅の南北間の利便性を増すための跨線歩道橋については、事業化に向け一歩前進し、今後、駅の橋上化も含め検討に入る予定です。

また、少子高齢化が進む状況下、県西総合病院の経営にも改善を加えながら引き続き医師の確保に努めてまいります。

桜川市でも出会いパーティーを開催し、良き成果を上げていくと伺っております。

市民の皆様のご幸せづくりは、議員の務めでもあります。家庭の基本となる結婚について、積極的にサポートし、輝かしい桜川市の未来に向かって、ひとりでも多くの市民の皆様が幸せになれることを切に望んでおります。

終りに、辛いのは、幸せになる途中です。これは「辛」の字に横に棒一本加えれば「幸」になることです。

また「星」という字は、日は生まれると書きます。つらい時は、星を見上げてください。きつと明るい明日が来ます。つらい、うれしいは生きている証です。生きていく今を大切に、市民の皆様、明るく元気よく頑張ってください。1年を乗り切りましょう。

我が国は長引くデフレと急激な円高が続いています。政府・日銀の市場への介入にもかかわらず、不況を回復する兆しは未だ見えてきません。また、TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）への参加問題は農業関係者を中心に不安を募らせています。地方行政においても、多くの自治体が長引く景気の低迷を受け、税収の減少など厳しい運営が迫られており、本市も同様の状況にあります。厳しい市政運営にはなりますが、創意工夫を重ねながら活力のあるまちづくりを推進してまいります。

本年10月には、本市にゆかりのある二宮尊徳翁にちなんだ「第17回全国報徳サミット桜川市大会」を開催します。テーマは報徳仕法に学ぶ「歴史を活かすまちづくり・絆をつなぐ人づくり」です。この催しに全国各地から約800人の方々が本市に訪れる予定です。市民の皆様と市を挙げてお迎えしたいと思います。

結びになりますが、本年は兎年です。皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げますとともに、飛躍の年になりますよう念願いたしまして、新年のごあいさつといたします。

